

四天王寺高等学校・四天王寺中学校 中長期計画（2026-2035）－総表－

将来ビジョン

- ・聖徳太子が仏教に帰依し、設置された敬田院の精神を礎とした建学の精神と学園訓を受け継ぎ、円満にして慈悲深い女性を育成する。
- ・将来希望した世界で活躍する知識・技能を身に付け、社会に貢献できる女性を育成する。

仏教教育に関する目標

- ・仏教教育により、「仏教の精神（こころ）」「和の精神（こころ）」を涵養し、人格を高め、常に感謝を忘れることなく、誠実であり、かつ礼儀、健康を重んじることができる信念ある女性を育成する。
- ・人権教育・平和教育を実施し、生徒自身及び他者の尊厳を尊重できる人材に育成する。

計画

- 1.建学の精神に基づいた仏教教育の実践
- 2.仏教科のカリキュラムの精査
- 3.仏教行事の充実
- 4.学校生活での仏教精神の実践と浸透
- 5.人権教育の実施

教科教育に関する目標

- ・教科指導においては、学力の三要素である、より高度な知識・技能の習得を進め、思考力・判断力・表現力・主体性・多様性・協同性に加え、課題発見力・課題解決力・目的完遂力の涵養を図る。
- ・女子教育の特性を活かし、着実に丁寧な教科指導を進める。

計画

- 1.各教科のカリキュラム・シラバスの精査
- 2.着実に丁寧な教科指導の実践
- 3.定期考査・実力考査・外部模試の結果のモニタリング
- 4.学習理解度が低い生徒への対応
- 5.探究授業・探究活動の実施

キャリア教育・進路指導に関する目標

- ・キャリア教育では、生徒が社会に出た時に社会問題の解決に貢献できるように自身の特性を理解し、キャリアを築く意識づけにつながるプログラムを実施する。
- ・進路指導では、入試制度の変更や入試動向等の情報を収集・共有することで多様な生徒の進路希望に柔軟に対応し、難関大学の進学実績を伸ばす。
- ・上記を実行していくためにより適したコース制度の在り方について検討する。

計画

- 1.キャリア教育や大学との連携プログラムの充実
- 2.大学入試制度及び入試結果の情報収集と共有
- 3.進路説明会、進路相談の充実
- 4.多様な進路希望に応え、大学合格実績を伸ばす
- 5.コース制度の精査と修正

学校行事・学校生活に関する目標

- ・日々の学校生活の中で、社会一般に通用するルール・マナーを涵養する。
- ・行事、課外活動等により社会に必要とされる力を身に付け、多様性を理解した上で社会問題に気づき、他者と協力しながら解決方法を考え、最後までやり抜く力を育成する。

計画

- 1.生徒指導部を中心に学校全体で生徒指導を行い、生徒にルール、マナーを涵養するための体制を構築する
- 2.学校全体で生徒自身の身の回りの美化が向上するよう指導する
- 3.生徒の自主性・希望を重んじた学校行事・課外活動を計画、実施する
- 4.クラブ活動・自主活動への支援を計画、実施する
- 5.海外語学研修・校内語学研修について計画、実施する
- 6.6力年、3か年を通じた縦割り行事を検討し企画する
- 7.保護者の来校、協力機会の拡充

人材管理に関する目標

- 建学の精神に基づいた人材を育成するための最適な教育・指導体制を構築し、教育の質の更なる向上を目指す。また、事務職員は、教員を事務で支援するための体制を構築する。

計画

- 1.優秀な教員の確保
- 2.教職員において仏教精神の理解の向上
- 3.教職員に外部研修への参加を促し、並行して内部研修を企画する
- 4.現状組織の見直し
- 5.ハラスメントの撲滅

環境整備・財務管理に関する目標

- ・生徒が安全に安心して学校生活が送れるよう、教員が教育活動に、また事務職員が事務仕事に専念できるよう環境を整備する。
- ・(仮称)4号館建替工事を計画通りに進める。
- ・上記を進めるために、財務状況を分析・管理する。

計画

- 1.校内の施設・設備の整備
- 2.(仮称)4号館建替工事を計画通りに進める
- 3.予算の立案、執行について厳格に管理し、翌年度繰越金、減価償却・施設準備の特定資産算入を確実に蓄える

広報に関する目標

- 仏教教育に真摯な態度で取り組むことができ、確かな基礎学力と主体的な学習姿勢を持ち、より高い向学心と努力を惜しまない女子児童・生徒に入学してもらうための広報を行う。

計画

- 1.本校ブランドイメージ向上を目的とした広報の実施
- 2.説明会、オープンスクール等の効果的な開催
- 3.塾や中学校への訪問を実施する